

教えて ドクター!



お子さんやお孫さんの歯に関する悩みや、義歯、インプラント、口腔ケアに関する疑問に、歯学博士・三枝尚登先生がこまち誌上で回答します。

Q6. 入れ歯が痛くて噛めません。

インプラントでなければ、やはりダメでしょうか?

A6. 最近、何かと問題提議されているインプラントですが、しっかりとした診断と、確かな治療技術の基に行えば、素晴らしい治療です。しかし、どんな症例にも対応できる訳ではありません。例えば、自己免疫疾患や高度に進行した糖尿病の方などにはインプラントはおすすめできません。入れ歯による治療しか出来なくなります。そもそも、入れ歯が痛いとか、入れ歯が外れやすいというのは、その入れ歯作りが上手く出来ていないということです。型採りの方法を工夫し、きちんとした噛み合わせが造れていれば、大きなご不満はないのが普通です。入れ歯という治療法を決して否定しないで下さい。なんでもかんでもインプラントという最近の風潮は、感心できません。その人に合った治療法を誠実に選択し、適切な治療を行うのが私たち、歯科医師の仕事です。

to be continued
質問募集中!

Profile

三枝尚登 [Hisato Saegusa]

◎三枝デンタルオフィス / 高松インプラントセンター

1991年 日本歯科大学大学院博士課程修了

1994年 高松インプラントセンター開設

1995年 ブローネマルク・システム・インプラント・インストラクター ノーベル・ファルマ社(現ノーベル・バイオケア社)認定
高松市、新潟市、大阪市にて歯科医師対象にインプラント治療のトレーニング・コースを始める。

1998年 エンドボア・インプラント・インストラクター イノバ社認定

2001年 アストラテック・インプラント・インストラクター アストラテック社認定

International Association for Dental Research(国際歯学研究会)正会員

American Academy of Periodontology(アメリカ歯周病学会)正会員

Academy of Osseointegration(オッセオインテグレーション学会)正会員

American Academy of Cosmetic Dentistry(アメリカ審美歯科学会)正会員

歯科治療は、歯科保存学へ。

歯科保存学というのは、歯科の中の専門分野のひとつです。

たとえば、口腔外科といえは、抜歯をはじめ、病気になった部分を外科的に切除する方法と学理を研究する専門分野です。

対して歯科保存学は、その名称のとおり、歯を保存する、歯を支える歯周組織を保存する、歯列を保存する、口の中の組織を長く残すための治療法について研究する学問なのです。